

医療用品 04 整形用品
一般医療機器 熱傷被覆・保護材 11322101
（手術用被覆・保護材 34654000）

メピレックス トランスファー

再使用禁止

【警告】

明らかな臨床的創感染を有する患者には慎重に使用すること。
（感染を悪化させるおそれがある。臨床的創感染を有する患者
であっても感染に対する薬剤治療や全身・局所管理をしながら
創傷被覆材を併用することが有益と医師が判断する場合には、
局所の観察を十分に行い、慎重に使用すること。）

【禁忌・禁止】

再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

** 1. 構造

本品は、ポリウレタンフォーム片面にシリコンゲルコーティング
が施された創傷被覆・保護材である。

** 2. 形状、寸法



製品番号	外形サイズ	入り数
294700	10×12 cm	5 枚/箱
294800	15×20 cm	5 枚/箱
294502	20×50 cm	4 枚/箱

3. 材質

ポリウレタン、シリコン

4. 原理

本品は、熱傷等の損傷のある皮膚および術後創傷を被覆及び保護し、
適用部位の滲出液を吸収する。過度に粘着せず、柔軟性があり、身
体のどの部位にも用いることができる。

【使用目的又は効果】

熱傷等の損傷のある皮膚及び術後創傷を被覆及び保護し、適用部位の
滲出液を吸収する。

【使用方法等】

** 1. 前処置

- (1) 本品を被覆する前に、創傷部に生理食塩液等にて通常の方法によ
り十分洗浄する。必要に応じて創傷部の消毒を行う。
- (2) 創傷部の周囲を十分に乾燥させる。

** 2. 使用方法

- (1) 創傷の辺縁部より 2cm ほど大きく、周辺皮膚も十分に覆うこと
が出来る適切な製品サイズを選ぶ。創傷の形状に応じて本品を
カットして使用することも出来る。
- (2) 本品を滅菌袋から取り出し、剥離フィルムを剥がす。
- (3) 接触面を創面に向けて被覆する。被覆する時には、伸ばしたり、
端にしわが入らないように注意する。滲出液が少量以下の創傷に
は、透過性のあるフィルムドレッシングを使用し、滲出液が多量

にある創傷には、本品の上から更に吸収性のあるドレッシングを
用いて包帯やドレッシング等で固定する。

- (4) 本品を除去する際は、一角をそっと持ち上げ、ゆっくりと剥がす。

** 3. 交換時期

- (1) 本品は、創傷部とその周辺皮膚の状態、または治療方針に従って
数日間被覆出来る。
- (2) 治療法を変更した後、最初は一時的に滲出液の増加を引き起こす
可能性がある。その場合はより短期間で交換すること。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- ** (1) 本品の使用、創傷部に本品が原因と推察される臨床的感染が起
きた場合には使用を中止し、適切な治療を行うこと。また、患者
の全身状態の悪化、全身管理の不足等によっても、創傷部に感染
症状が現れることがある。感染の兆候に十分注意し、臨床的感染
が認められた場合には、原則として使用を中止し、適切な治療
を行うこと。
- (2) 本品使用中に皮膚障害と思われる症状が現れた場合には、使用を
中止し、適切な治療を行うこと。
- ** (3) 創周辺部に粘着剤による発赤や滲出液の貯留による浸軟が起こ
る場合がある。また、皮膚剥離を起こす場合もあるので、本品の
使用時には十分な観察を行い、本品の関与が否定できない異常が
見られた場合には直ちに使用を中止し、医師に相談し適切な治療
を行うこと。
- ** (4) 創傷部を十分に観察し、滲出液の量や創傷部の状態に合わせて適
切に交換すること。
- (5) 次亜塩素酸塩溶液や過酸化水素などの酸化剤と併用しないこと。

** 2. 不具合・有害事象

一般的な創傷被覆・保護材の使用における「有害事象」
＜その他の有害事象＞

- ・ 創の感染症状
- ・ 創傷及び周囲の皮膚障害（表皮剥離、浸軟、浮腫、水疱、発
赤、びらん、そう痒、アレルギー、接触性皮膚炎）
- ・ 固着
- ・ 壊死組織の増加
- ・ 疼痛

3. その他の注意

- (1) 本品は滅菌済みで、包装に破損等がない限り無菌性は保証される
が、使用前に包装が破損又は汚損している場合には使用しないこ
と。
- (2) 本品は開封後、直ちに使用すること。
- (3) 本品を再滅菌しないこと。

** 【保管方法及び有効期間等】

水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。
使用期限は包装に記載（自己認証による）。

** 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：メンリッケヘルスケア株式会社
電話：03-6914-5004